

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会
トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2020年東京オリンピックの目標は、より多くのメダルや入賞をより多く獲得するとともに、大会により多くの競技者を送り込むことにある。その課題を達成するために、本大会でのメダル・入賞を期待される競技者と、本大会の参加資格を有する競技者を最大限派遣する。

2. 開催地 ドーハ（カタール）

3. 開催期間 2019年9月27日（金）～10月6日（日）

4. 開催種目

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、マラソン、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、20km競歩、50km競歩、4×100mリレー、4×400mリレー

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、マラソン、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、20km競歩、50km競歩、4×100mリレー、4×400mリレー

（3）混合

4×400mリレー

5. 主なスケジュール

5月11日（土）～12日（日）	横浜 2019 世界リレー
4月21日（日）～24日（水）	ドーハ 2019 アジア陸上競技選手権大会
5月19日（日）	第103回日本陸上競技選手権大会・10000m（2019／大阪）
6月8日（土）～9日（日）	第103回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2019／長野）
6月27日（木）～30日（日）	第103回日本陸上競技選手権大会（2019／福岡）
7月1日（月）	第1次日本代表選手発表 ※以降内定条件を満たした場合は、随時追加。
<u>9月6日（金）</u>	<u>参加標準記録有効期間終了</u>
<u>9月7日（土）以降</u>	第2次日本代表選手発表
<u>9月7日（土）～15日（日）</u>	<u>国際陸上競技連盟（以下「IAAF」）による出場有資格選手及びリレーチームの確認</u>
<u>9月16日（月）</u>	<u>ファイナルエントリー提出期限</u> ※以降、IAAFによる追加の可能性あり。
9月27日（金）～10月6日（日）	ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会

6. 選考競技会

- (1) 第 103 回日本陸上競技選手権大会 (2019/福岡)
- (2) 第 103 回日本陸上競技選手権大会・混成競技 (2019/長野)
- (3) 第 103 回日本陸上競技選手権大会・10000m (2019/大阪)
- (4) ドーハ 2019 アジア陸上競技選手権大会

7. 選考基準

編成方針に基づき日本代表選手を選考する。

なお、下記 (1) から (4) の各条件中の競技成績については、当該種目に係る成績のみ考慮する。

(1) 日本選手権終了時点における内定条件

- 1) 日本選手権終了時点で参加標準記録を満たした、第 103 回日本陸上競技選手権大会 (以下「日本選手権」) 優勝者。
- 2) ドーハ 2019 アジア陸上競技選手権大会 (以下「ドーハアジア選手権」) の個人種目で優勝した日本選手権優勝者。

(2) 日本選手権以降の内定条件

- 1) 日本選手権終了後から **2019年9月6日** までに参加標準記録を満たした日本選手権優勝者。

(3) **2019年9月7日以降**における選考条件

下記の数字の若い順に優先する。

- 1) 参加標準記録を満たし、**2019年9月7日**時点 IAAF ワールドランキングにおいて日本人上位の競技者。
- 2) 参加標準記録を満たした、ドーハアジア選手権優勝者。
- 3) 参加標準記録を満たした、強化委員会が推薦する競技者。
- 4) ドーハアジア選手権優勝者で、強化委員会が推薦する競技者。

(4) ファイナルエントリー後の IAAF ランキングによる追加条件

参加標準記録を満たしていないが、IAAF からランキングによる追加が認められた強化委員会が推薦する競技者。

(5) リレー種目

1) 日本選手権終了時点におけるリレー代表候補選手を選考条件

男女リレー種目については、日本選手権終了時点において、代表候補選手を選考し、**2019年9月7日以降**に、代表選手を選考する。

①男子 4×100m リレー・男子 4×400m リレー

下記のアルファベットの早い順に優先する。

- a 選考基準 (1) で選考される 100m・400m 代表選手
- b 日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールドングランプリ大阪及び世界リレー等の成績を総合的に勘案し、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者。ただし、原則として、2019年7～8月に国内または海外において強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿への参加意思を有することを条件とする。

②女子4×100mリレー・女子4×400mリレー

下記のアルファベットの早い順に優先する。ただし、b及びcについては、原則として、以後女子リレープロジェクトに参加する意思を有することを条件とする。

- a 選考基準(1)で選考される100m・400m代表選手
- b 下記の競技者の内、日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールドデングランプリ大阪及び世界リレー等の成績並びに女子リレープロジェクトにおけるパフォーマンスを総合的に勘案し、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者。
 - ・第1期女子リレー日本代表候補選手(以下、「女子リレープロジェクトメンバー」)で、日本選手権優勝者
 - ・世界リレー(女子4×100mリレー・女子4×400mリレー)に出場した競技者(ただし日本選手権3位以内を条件とする)
 - ・女子リレープロジェクトメンバーで、プロジェクトの選考基準であるワイルドカードの記録を突破した競技者(ただし日本選手権3位以内を条件とする)
- c 女子リレープロジェクトメンバーの内、日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールドデングランプリ大阪及び世界リレーの成績並びに女子リレープロジェクトにおけるパフォーマンスを総合的に勘案すると共に、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者

【補足】

- ・選考基準(5)1)②の「女子リレープロジェクトメンバー」は、女子リレープロジェクトにおいて日本選手権開催前までに選出された競技者を示す。
- ・bの日本選手権の対象種目は女子100m、200m、400m、800m、100mH、400mHとする。

2) 日本選手権終了後、**2019年9月6日**までのリレー代表候補選手の追加条件

①男子4×100mリレー・男子4×400mリレー

日本選手権以降の競技会において顕著な成績を収めた、強化委員会が推薦する競技者。

3) 2019年**2019年9月7日以降**における選考条件

①男子4×100mリレー・男子4×400mリレー

下記のアルファベットの早い順に優先する。

- a 選考基準(1)、(2)、(3)で選考される100m・400m代表選手
- b リレー代表候補選手の内、日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールドデングランプリ大阪及び世界リレー等の成績を総合的に勘案すると共に、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者。ただし、原則として、2019年7～8月に国内または海外において強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加したことを条件とする。

②女子4×100mリレー・女子4×400mリレー

下記のアルファベットの早い順に優先する。

- a 選考基準(1)、(2)、(3)で選考される100m・400m代表選手
- b リレー代表候補選手及び女子リレープロジェクトメンバーの内、日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールドデングランプリ大阪及び世界リレー等の成績並びに女子リレープロジェクトにおけるパフォーマンスを総合的に勘案すると共に、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者

【補足】

- ・選考基準(5)3)②の「女子リレープロジェクトメンバー」は、女子リレープロジェクトにおいて**2019年9月6日**までに選出された競技者を示す。

③混合 4×400m リレー

男女各 4×400m の出場権獲得状況も勘案しつつ、日本選手権、ドーハアジア選手権、日本グランプリシリーズ、ゴールデンングランプリ大阪及び世界リレー等の成績並びに女子リレープロジェクトにおけるパフォーマンスを総合的に勘案すると共に、リレーの特性を考慮し、強化委員会が推薦する競技者。

8. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目

1) 日本選手権終了時点での選考

①内定条件

日本選手権終了時点で、該当者が 3 名以内の場合に即時内定とし、理事会において正式決定する。

2) 日本選手権以降の内定

日本選手権終了後から **2019 年 9 月 6 日**までに、選考基準の優先順位上位の項で IAAF の定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、日本選手権優勝者で参加標準記録を満たした競技者を即時内定とし、専務理事が正式決定する。

3) **2019 年 9 月 7 日以降**における選考

①個人種目

選考基準の優先順位上位の項で IAAF の定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準 (3) の優先順位に準じて、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認する。

4) ファイナルエントリー後の IAAF ランキングによる追加条件 (**2019 年 9 月 17 日以降**)

選考基準の優先順位上位の項で IAAF の定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、IAAF から追加が認められた競技者を、強化委員会が推薦し、専務理事が承認する。

(2) リレー種目

1) 男子 4×100m リレー・男子 4×400m リレー

①日本選手権終了時点での選考

選考基準 (5) 1) ①の優先順位により、適切な数のリレー代表候補選手について、強化委員会が原案を作成し、理事会において決定する。

②**2019 年 9 月 7 日以降**における選考

選考基準 (5) 3) ①の優先順位により、適切な数のリレー代表選手について、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認する。

2) 女子 4×100m リレー・女子 4×400m リレー

①日本選手権終了時点での選考

選考基準 (5) 1) ②の優先順位により、適切な数のリレー代表候補選手について、強化委員会が原案を作成し、理事会において決定する。

②**2019 年 9 月 7 日以降**における選考

選考基準 (5) 3) ②の優先順位により、適切な数のリレー代表選手について、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認する。

3) 混合 4×400m リレー

2019 年 9 月 7 日以降、選考基準 (5) 3) ③に従い、適切な数のリレー代表選手について、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認する。

9. 東京オリンピックの内定条件

本大会で、個人種目において3位入賞以上の成績を収めた日本人最上位の代表選手で、本大会終了時点で東京オリンピックの参加標準記録を満たしている者を東京オリンピック日本代表選手に内定する。また、世界選手権終了時点までにオリンピックの参加標準記録を満たしていない場合は、2020年に開催される該当種目の日本選手権終了までに参加標準記録を満たした時点で内定する。

10. 補足

(1) 参加標準記録の有効期間は下記の通り。

10000m、混成競技、リレー：2018年3月7日～**2019年9月6日**

その他の種目：2018年9月7日～**2019年9月6日**

(2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(3) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。

(4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

1) アンチ・ドーピング規則に反した場合

2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合

3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合

(5) リレーの代表候補選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、男子については、2019年7～8月に国内または海外において強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿、女子については、2019年7月以降女子リレープロジェクトに参加する義務を負うものとする。

(6) 選考から派遣までの期間を考慮し、代表選手は派遣まで定期的に各種目のオリンピック強化コーチへのトレーニングの進捗状況を報告する義務を有する。

(7) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。

(8) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

以上

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権

トラック & フィールド種目ターゲットナンバー・参加標準記録

男子		種目	女子	
ターゲットナンバー	参加標準記録		ターゲットナンバー	参加標準記録
48	10.10	100m	48	11.24
56	20.40	200m	56	23.02
48	45.30	400m	48	51.80
48	1:45.80	800m	48	2:00.60
45	3:36.00 (3:53.10)	1500m	45	4:06.50 (4:25.20)
42	13:22.50	5000m	42	15:22.00
27	27:40.00	10000m	27	31:50.00
40	13.46	110mH/100mH	40	12.98
40	49.30	400mH	40	56.00
45	8:29.00	3000mSC	45	9:40.00
32	2.30	走高跳	32	1.94
32	5.71	棒高跳	32	4.56
32	8.17	走幅跳	32	6.72
32	16.95	三段跳	32	14.20
32	20.70	砲丸投	32	18.00
32	65.00	円盤投	32	61.20
32	76.00	ハンマー投	32	71.00
32	83.00	やり投	32	61.50
24	8200	十種競技/七種競技	24	6300
2019 ワールドリレーズ上位 10 ヶ国 + IAAF ランキング上位 6 ヶ国		4×100m リレー 4×400m リレー	2019 ワールドリレーズ上位 10 ヶ国 + IAAF ランキング上位 6 ヶ国	
2019 ワールドリレーズ上位 12 ヶ国 + IAAF ランキング上位 4 ヶ国		混合 4×400m リレー		

※1500m の参加標準記録の () 内は 1 マイルの記録。

※世界リレーの結果により、男子 4×400m リレー、混合 4×400m リレーは出場権獲得済み。